総合

国際観光ホテル整備法

制度の見直し検討

観光庁 自民調査会の提言受け

観光庁は、国際観光ホテル整備法について、学識経験者に意見を聞くなど、制度の今後の在り方を探っている。国際観光の振興を目的に1949年に制定された法律。訪日外国人旅行者の受け入れに向けて旅館・ホテルの整備を促進する登録制度があるが、今年5月には自民党観光立国調査会から、現状に即した登録基準に見直すよう提言された。宿泊施設やインバウンドを巡る状況の変化を踏まえ、観光業界の意見も聞きながら、見直しの必要性について検討する。

国際観光ホテル整備法には、外国人旅行者に適した宿泊施設として登録できる制度があり、旅館、ホテルそれぞれに、客室やロビー、内装などの施設面、外客接遇主任者の選任など接遇面に関する登録基準が定められている。5月末時点の登録施設数は、旅館1391軒、ホテル938軒の計2329軒。

戦後の外国人旅行者の受け入れ、宿泊施設の施設水準の引き上げなどに成果を上げたが、施行から約70年が過ぎ、インバウンド振興への実効性の低さ、制度の形がい化などがたびたび指摘されてきた。観光分野の法制度を検討していた自民党観光立国調査会も、検討対象の一つに国際観光ホテル整備法を取り上げた。

観光庁の蒲生長官（16日の会見）

国際観光ホテル整備法の現状について、観光庁の蒲生篤実長官は16日の専門紙会見で、「国際的なホテルをつくるという観点から一定の機能を果たしてきた。ただ、外国のお客さまのニーズは、富裕層などを含めて多様化している。今の仕組み、制度をどう見るか、学識経験者からいろいろ話をうかがっているところだ。それを踏まえて関係業界とも意見交換していきたい」と述べた。

具体的な論点、検討の方向性、スケジュールなどは未定だが、議論のポイントとして蒲生長官は「実際に利用する外国のお客さまの声も重要だ。それらを踏まえて検討していく。今の時代、サービスの情報などはネット上にもあふれている。その中で国がやる制度として、どうあるべきか。広く意見を聞いていきたい」との考えを示した。

登録施設には、当初さまざまな優遇措置が実施されていたが、現在の実質的なメリットとしては、地方税の不均一課税が挙げられる。観光庁によると、古いデータだが、2018年12月時点で固定資産税の軽減措置を実施していたのは248市町村。このほか、一般に「政府登録旅館」「政府登録ホテル」として浸透するなど、登録施設としてのブランドに制度の価値を置く宿泊事業者も少なくない。【向野悟】

5月訪日客は99％減1万人 JNTO

日本政府観光局（JNTO）が16日に発表した推計値で、2021年5月の訪日外国人旅行者数は1万人となった。新型コロナウイルス流行前の19年同月比で99・6％減だった。

国・地域別の訪日旅行者数は、中国が1800人、韓国と米国が各千人、フィリピンが600人、インドが500人、ベトナムが400人、台湾とインドネシアが各300人など。

21年1～5月累計の訪日外国人旅行者数は8万7100人。19年同期比で99・4％減だった。

また、JNTOが発表した推計値で21年5月の出国日本人数は、19年同月比97・9％減の3万100人。21年1～5月累計の出国日本人数は、19年同期比で97・9％減の16万8400人となった。

ホテルの能力評価制度紹介 JLMオンライン講座 JAVADAの高久氏を講師に

国家検定試験「ホテル・マネジメント技能検定試験」を運営する日本宿泊産業マネジメント技能協会（JLM、作古貞義理事長）は17日、第5回無料オンライン・マネジメント講座「ホテル業界における職業能力評価制度～『職業能力評価基準』を中心に～」を実施した。中央職業能力開発協会（JAVADA）能力開発支援部教育訓練支援課長の高久訓一氏が講師を務めた。

JAVADAは、1979年に職業能力開発促進法に基づいて設立された組織で、厚生労働省人材開発統括官の所管。職業能力の専門機関として「能力評価・キャリア経営支援を通じた職業キャリアの持続的発展」に寄与するための活動を行っている。ものづくり基盤強化のための「技能五輪全国大会」「技能検定」の実施は、その活動の中でも特に有名。

技能検定は、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度。ものづくりを中心に111の職種についてJAVADAが試験問題を作成し、都道府県職業能力開発協会が検定を実施している。

「ホテル・マネジメント」職種については、指定試験機関（民間機関）である日本宿泊産業マネジメント技能協会が、ホテル・マネジメント技能検定を2019年度から実施している。

宿泊業の「職業能力評価基準」は、ホテル業が04年9月、旅館業が10年12月に完成。厚労省のホームページで「職業能力評価シート」と合わせて無料公開されている。

21年のホテル・マネジメント技能検定試験は、学科試験を9月12日、実技試験を12月5日に実施する。学科試験の申し込み期間は6月30日までとなっている。

高久氏は、社会基盤としての職業能力評価基準整備の目的について「内部・外部労働市場で活用できるよう幅広い職種を対象として汎用性のある業界横断的な職業能力評価基準を策定することで、『能力が見える』社会の実現につながる」と強調。その上で、職業能力評価基準の企業側のメリットとして①従業員に求める能力要件を具体的に示すことができる②従業員が納得できる公正かつ客観的な人事評価制度を構築できる③従業員の能力を客観的に把握し効果的に人材育成を行うことができる―を挙げた。

一方、労働者側のメリットについては①自身の能力を客観的に把握できる②どのように仕事をすれば評価されるのか具体的に知ることができる③キャリア形成の目標・指針に活用できる―とした。

オマツリジャパンの毎週祭日 ㉟

冬の夜に輝く秩父人の思い

秩父夜祭（埼玉県秩父市）

埼玉県の秩父地域は祭りが盛んであることをご存じだろうか。その数は年間で400にも上るといわれている。その代表的な祭りが毎年12月2、3日に行われる「秩父夜祭」だ。美しく壮麗な山車と、冬の夜空に上がる盛大な花火で広く知られている。

この祭りは武甲山との関わりが深い。秩父神社では、武甲山からの恵みの水を迎え入れる春祭り「御田植祭」があり、その水がもたらした秋の実りに感謝し、武甲山へ返礼するのが冬の例大祭「秩父夜祭」だ。また、武甲山にすむ男神（龍神）と、秩父神社の女神（妙見様）が年に一度の逢瀬を楽しむ一夜とのロマンチックな言い伝えがある。

スターマインに向かって団子坂を上る中近笠鉾(なかちかかさぼこ)

3日大祭の日の夕方、秩父神社から神幸行列を先頭に、6基の山車が武甲山の方角にある御旅所、通称「お山」へと向かう。そのお山の手前には難所「団子坂」があり、勇壮な屋台囃子(ばやし)の太鼓をとどろかせながら、10㌧を超える山車が、大勢の曳き子の手で引き上げられる。

山車の先頭に乗る「囃子手」は一生に一度きりとされる選ばれし大役だ。「ほーりゃい！」という独特な掛け声は団子坂で一層の力がこもり、晴れ舞台のこの瞬間に涙をこぼす囃子手も多い。そして山車の団子坂引き上げと同時に夜空の花火も高揚し、祭りはクライマックスを迎える。

全ての山車がお山にそろうのは午後10時ごろ。無事、武甲山にごあいさつを終えた氏子たちの顔に安堵の表情が浮かぶ。屋台祭りは夜通し続き、屋台囃子が鳴りやむのは翌日の明け方だ。

秩父では12月2、3日は休みとなる学校や会社が多く、この地を離れた者も祭りを理由に帰省するそうだ。まさに「祭日」だ。このような故郷があるのはうらやましい。

四方を山に囲まれ、かつては「埼玉のチベット」などとやゆされた秩父だが、西武秩父線の開通や道路整備が進んだことによりアクセスしやすい土地となった。コロナ禍が収束した暁(あかつき)には訪れたい祭りの一つとして心にとどめていただきたい。

（お祭りフォトグラファー・古川ならい）

▽オマツリジャパンは日本初の祭りサポート専門会社。omatsurijapan.com

仲介業者取り扱い物件数が13％減に 観光庁集計

住宅宿泊事業法（民泊法）に登録している住宅宿泊仲介業者などが取り扱っている民泊、旅館・ホテルなどの延べ物件数は、2021年3月末時点で11万2878件となった。観光庁が5月31日に発表した集計結果。18年6月の民泊法施行以来、増加傾向にあったが、コロナ禍が影響したとみられ、取り扱い物件数は20年3月末時点に比べて12・8％減少した。

調査対象の住宅宿泊仲介業者などは計95社。このうち民泊仲介サイトなどを運営する住宅宿泊仲介業者として国内事業者が74社、海外事業者が15社。この他に民泊法の届け出住宅を取り扱っている旅行業者が6社。集計した物件数は延べ数で、複数の業者で取り扱う物件は重複して数えている。

今年3月末時点の取り扱い物件数の内訳は、民泊法に基づく届け出住宅3万7679件▽旅館業法に基づく旅館・ホテル、簡易宿所6万263件▽特区民泊の認定施設1万4787件▽イベントホームステイ（イベント民泊）4件▽その他（短期賃貸借物件など）145件。

取り扱い物件数は、民泊法施行日の18年6月15日時点で2万4938件だったが、増加が続き、20年3月末時点で12万9446件に達した。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行が影響したとみられ、20年9月末時点では11万8099件と減少に転じていた。

取り扱い物件数のうち、民泊法の届け出住宅数も、20年3月末時点では過去最高の4万5083件に達したが、20年9月には4万4134件とマイナスに転じていた。

観光庁は、住宅宿泊仲介業者などに提出させた取り扱い物件と、民泊法の届け出住宅や旅館業法の営業許可施設などのデータを照合し、違法な民泊物件の排除などにつなげている。

特集

明日の人材を輩出

観光系学部を持つ大学・専門学校

観光分野は、現在、コロナ禍で需要が縮小しているものの、国策による観光立国推進の追い風を受け、今後も市場の拡大が見込まれるのは間違いないだろう。だが、観光業界が着実に発展していくためにはいくつかの課題を解決する必要がある。その一つが人材の育成、確保だ。特に若者の活躍がなければ、企業や組織が活性化していかない。今回の観光業界向け特集のテーマは「観光系学部を持つ大学・専門学校」。明日の人材を輩出する7校を紹介する。

特集記事8～11面

星野リゾートと教育連携

日本工学院専門学校

蒲田駅から徒歩２分の日本工学院専門学校蒲田キャンパス

日本工学院専門学校は昨年4月、東京・蒲田キャンパスに情報ビジネス科ホテルコースを新設した。「ホスピタリティ×ITスキル」を教育の柱に、ホテル業界が、求める人材を育成している。

「ホテルの仕事のやりがいは、人や社会に貢献できること。お客さまの喜びを日々実感できる仕事です。そして時代や人によって求められるものが変化しますので、ゴールがないというのも魅力です」。星野リゾート出身で、ホテルコース専任教員の遠藤麻由教師は、ホテル業の魅力についてこう語る。「ホテルコースでは、ホテルスタッフに必要なスキルとともに、簿記やワード、エクセルなどの基本的なパソコンスキル、ICTスキル、そしてホスピタリティや人間力を高めるためのカリキュラムを幅広く用意しています」（同教師）。

遠藤教員

ホテルコースの特徴はICT教育と産学連携・地域連携を中心とした体験型教育。IT化が進むホテルの現場において、システムを使いこなせる人材育成を行うと共に、企画力やマネジメント力向上のため、企業や行政との連携を積極的に行っている。また、他学科とのコラボレーション授業を行うことで多角的視野も養っている。

同コースでは、今年4月から星野リゾートとの教育連携を開始。同社スタッフによる講義、全国の同社の施設でのインターンシップの実施、星野佳路代表らによる特別講義に加えて、卒業制作の指導協力、就職サポートなども受ける。

実習室

星野リゾートが専門学校との教育連携を行うのは今回が初めて。星野代表は観光業を目指す学生たちへ次のようにエールを送る。「『観光』には座学で学ぶことだけでなく、現地に行かないと学べないことがたくさんあります。私たちも日本工学院情報ビジネス科ホテルコース講師として、これまでの現場での経験と実践を共に皆さんに伝えていきます。『観光の仕事』は、決して簡単ではありませんが、非常にやりがいのある仕事です。皆さんもどんどん観光産業の中に飛び込んでいただいて、実力を付けていただきたい。一生懸命学び、日本の観光産業を牽引する大事な観光人材に育ってほしいと思っています」。

日本工学院専門学校（蒲田キャンパス）は、学校法人片柳学園が運営。同学園は他に、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、さらに東京工科大学・大学院・附属日本語学校・片柳研究所も擁する教育機関だ。東京都大田区蒲田で1947年に設立。その後、日本テレビ技術専門学校、日本電子工学院と名称を変え、産業界の要請に応える技術者教育を行ってきた。2010年に蒲田キャンパスの新校舎が完成。16年には4千人収容の舞台付き地下多目的ホール「片柳アリーナ」も完成した。同学園の卒業生総数は28万人以上に達する。

蒲田キャンパス 情報ビジネス科 ホテルコース
「ホスピタリティ」×「ITスキル」を教育の柱に、ホテル業界が求める人材を育成。
2021年4月、星野リゾートとの教育連携がスタート！

ホスピタリティ
お客様の満足度を高めるために何をすべきなのか、お客様の快適な滞在を願う配慮や柔軟で質の高いサービスなど、これらを自然に提供できるホテリエとしての素養を身につけます。

マネジメント
「ホスピタリティ・マネジメント」「ファシリティ・マネジメント」「リスク・マネジメント」といったマネジメントを学ぶとともに、世界標準のホテル管理会計システム「ユニフォームシステム」についても学習します。

インターンシップ
実際のホテル業務を体験するインターンシップを通して、教室の中だけでは得られない実践的なスキルを養成。国内有数のホテルで1年次からインターンシップを行います（予定）。

＋αの学び 業界に求められるスキルを習得！

ICT
ITカレッジが行ってきたICT教育をホテルコースにも応用し、実際にホテルで採用されている予約・清算・顧客管理システムをはじめとするホテルシステムの仕組みを理解します。ホテルの情報発信のほとんどがインターネットの時代である今、ホテル業界で求められている、ITに強い人材を育成します。

イベント
日本工学院のイベント系学科のノウハウを生かし、ホテルでのイベントの企画・運営が行える貴重なスキルが身につきます。

日本工学院専門学校 ITカレッジ 情報ビジネス科 ホテルコース 2年制
0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
https://www.neec.ac.jp/ @nihonkougakuin @neec_official nihonkogakuin
オープンキャンパス＋体験入学開催中！